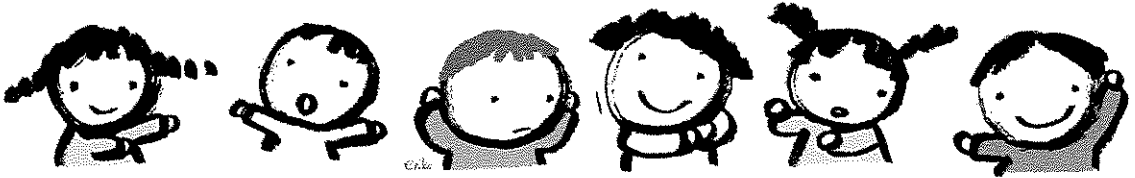


2024年度

# こどもニュース

No. 11

9.26.発行



## 【運動会における】

本園の運動会は他の行事と同じく「毎日の遊びの延長線上にあること」を大事にし「親で神様からいただいた身体を動かし楽しむこと」を中心に行っています。

今回は私達保育者が運動会という行事を通して、何を子ども達に伝え育てたいと願っているか、何を大事にしているかなどをあらためてお伝えしたいと思います。

**\*身体を動かす喜びを感じよう!神様からいただいた異なる賜物を活かしあおう!**

2 学期から朝の体操が始まりました。9 時に「朝のテーマ」と呼ばれる音楽がかかり、それを合図にクラスの旗の前に 2 列に並んでいきます。

1 列は年長児と年少児、もう 1 列は年中児が並びます。最初は「並ぶ」ということもわからなかった年少さんですが、年長さんが間に年少さんを挟んで並び、順番や間隔の開け方を「ここだよ」と自然に教えています。普段からの関わりの力ですね! 今では音楽が鳴る前から年少さんも旗の前に「もうすぐだよ!」と並ぶ姿があります。

今年度は猛暑のため、午後などは園庭に出ることが難しい日が続きました。それでも 1 学期に比べ、身体もしっかりと動くようになってきたからか、朝の涼しいうちに自然に「ドロケイ」や「鬼ごっこ」など身体を使った遊びに参加する子どもが増えました。

またドッチボールは暑くて園庭に出られない午後に遊戯室で楽しむ姿がよく見られます。子ども達は「午後ドッチ」と呼んでいます。園庭よりも壁に当たって跳ね返ってくる、その予想外の動きをするボールを取りに行くのが楽しいのか、「午後ドッチ」には年長さんだけではなく年中さん、年少さんも加わり 3 学年…いや、にじ組さんも含めて 4 学年が入り混じ

ってボールを追いかけています。金城ならではの異年齢が入り混じった遊びの風景です。

時にはボールを持った年少さんがそのまま走って逆のコートへ行ってしまうことも…。慌てつつも、年少さんの肩を回して正しい方向に向け「ほら！投げて」と応援する年長さん。このようにそれぞれの育ちの違いがあっても認め合い、活かしあい育ちあう暮らしを大事にしたいと思います。そしてこのような毎日の延長線上に運動会を迎えたいと思っています。



### \* みんなで参加できる、みんなが楽しい運動会を大事に!

特に大きな行事は、その「意味」を子ども達自身が理解して、楽しんで参加できることが大事です。「言われたことを一生懸命する」ことも大事ですが、一人ひとりが「やりたい!」と主体的に参加し「おもしろい!」と楽しんで行事を迎えることを大切にしたいと考えています。

一番大事なのは「子ども達にとって」楽しい運動会ではないでしょうか。そう考えると、競技の数が多すぎると疲れてしまいますし、最近の気候変動、高い気温の中では競技時間や待ち時間が長ければ熱中症の危険が子どもも大人も増してしまいます。以前は途中休憩を挟んで12時過ぎまで行っていましたが、当時から年少さんは後半おなかがすいて泣いたり、疲れて競技に出られなくなったりという姿が多く、課題を感じていました。熱中症の対策も行いながら「あー、楽しかった!」と終われる時間内で実施していきたいと思っています。

また日々の遊びの中で楽しい経験が積み重なっていることで当日の環境が普段と違って参加しやすかったり、楽しめるのではないかと考えています。運動会に向けた練習は、当日ちゃんと「何かができる」ためではなく、お客様も多く普段の環境とはかなり違った中でも(大人でもあの大勢のお客様の中ではドキドキします!）、子ども達が余裕をもって充分に楽しめるよう、毎日の遊びの中で何度も経験し、充分面白さを理解して参加してほしいと願い取り組んでいます。

### \* 大きな行事は「過程」が大事

当日もちろん大事ですが大きな行事ほど「過程」が大事です。年少さんは初めての運動会、日頃と違う環境の中でも充分楽しめるように、年中さんは思いっきり身体を動かす喜びを感じられるように、年長さんは最後の運動会、仲間と力を合わせ競技に取り組むだけ

ではなく、最年長児として運動会の運営にも関わられるようにと願っていますから様々な役割を担ってくれます。ゴールのテープを担当してくれたり、道具を出してくれたり、年下のお友だちの競技のお世話をしてくれたり…と大活躍の予定です。どれも急にできるようになるわけではなく当日までの毎日の積み重ねの中で育つものです。日々の遊びや活動との連続性を大事にしていきたいと思っています。

また、当日を迎えるまで子どもによっては「ドキドキする」「うまくできなかつたら…」「恥ずかしい」などの葛藤も生まれます。その葛藤は成長にとってとても大事な事です。成長する、ということは新しい葛藤に出会うということでもあります。

どうぞ、その葛藤と向き合う子ども達の姿、運動会に向かう一人ひとりの過程の姿にも目を留めていただけたらと思います。楽しみにしている、どうもドキドキしているみたい、なにも言わないのだけれど大丈夫？(笑)など、どんな事でもお伝えください。

私達保育者も子ども達一人ひとりの道筋をおうちの方々とうちあひ、共有し、ともに子ども達の育ちを支えていきたいと思っています。


#### \* 一人ひとりの成長をみんなで喜び合う運動会に一「できるできない」ではなく一

行事を楽しみにしていても、一生懸命準備をしていても当日は普段通りに力を出し切れる子ばかりではありません。いつもと違う、たくさんのおうちの方に圧倒されたり緊張や恥ずかしさでドキドキして力を出し切れない子もいることと思います。そのような姿も今現在のお子様の成長の姿と受け止めていただきたいと思います。そして異年齢のクラス編成では子ども達は自分が参加しない競技でも仲良しのお兄さん、お姉さん、あるいは年下のお友達が出場するのでみんなで応援しあう姿があります。おうちの方々にとっても我が子だけではなくクラスや学年を超えて一人ひとりの頑張りを応援し成長の喜びをわかちあえる一日となりますように。

#### \* 運動会についてお願い

今年度は人数制限もなく、大勢の方が来園します。お互いに充分に距離をとっていただき安全のためのルールを守ってご参加ください。先日お渡ししたお便りに当日のルールやお願いがたくさん書いてあります。どうぞよく目を通していただきますようお願いいたします。

運動会当日までの「過程」をお伝えすることもニュース、この後は学年ごとのあつまりのねらいと様子です！

児玉 芽  印

# 年長 あつまり



☆昨年の年長さんは何してたっけ??

「昨年の年長さんは運動会でどんなことしていたかな?」と子ども達に聞くと、「リレー!」「騎馬戦!」「年少さんにメダルをかけてあげていた」「玉入れ!」(玉入れは年中さんじゃん!とツッコミを入れる子もいましたが…笑)でもみんな一年前のことをよく覚えていましたよ。年長さんになったらこんなことしたい、あんなことしたいと年長さんに対して憧れを持っているからこそよく見ていて、覚えていたのだと思います。縦割り保育だとより年長さんを身近に感じ、憧れの気持ちが強くなるのかもしれないですね。ステキ☆

☆係決めをしました!

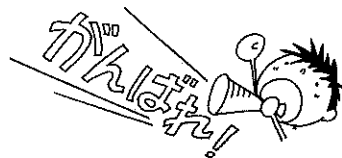
昨年の運動会を振り返りながら、年長さんがどんな係を担ってくれていたか思い出してもらいました。係の内容をみんなで確認し、やりたい係を自分で決めました。(「友だちがこの係にするから一緒にする…は、無しだよね」と子ども達から意見が出て。しっかりしている年長さんです)

係によっては希望者が多い係とそうでない係がありました。年少係(年少さんの“よーいどん”の時に年少さんを誘導したり、ゴールする年少さんをギュッと抱きしめて褒めてくれる大事な係です)の希望者がいないクラスがありました。「年少さん係がないクラスがあるけど、どうする?」と投げかけると他のクラスの子もから「年少さん可哀想だよね」「他のクラスの年長さんじゃあ、慣れていないからイヤってなっちゃうかもね」そのような話をしていると「やっぱりこっちにする」「かわりたい」とそれぞれの係の良さや大切さを感じ、どの子も自分で納得して係を決めることができました。長時間の話し合いでしたが、集中して話し合い、自分の気持ちをしっかり伝えたり、意見を聞いたり、さすが年長児のあつまりだと感じました。

## ◆系の紹介◆

- ・にじ旗係…開会礼拝、体操時先頭に並び、年中さんのかけっこで使用できるよう旗を移動させてくれます。またにじぐみさんの“ラン Run らん♪”後にじぐみさんにメダルをかけてくれます
- ・メダル係…年少さんの“よーいドン”の時に年少さんにメダルをかけてくれます。
- ・年少係…年少さんの“よーいドン”で、年少さんが並べるようにお手伝いしたり走った年少さんにタッチやギュッとしたり、年少さんをサポートしてくれます。
- ・道具係…競技で使用する道具の準備や片付けなど力仕事をしてくれます。
- ・ゴールテープ係…年中さんのかけっこでゴールテープを担います。
- ・プレゼント係…未就園児のかけっこで“頑張ったね”とプレゼント(ノート)を渡します。
- ・アナウンス係…様々な競技をみんなが頑張れるように、メッセージを自分で考えアナウンスしてくれます。

運動会当日もそれぞれ自分の係を楽しみながらしっかり担っていきます。どうぞ温かい声援と拍手をよろしく願いたします。



## ☆心を込めて メダル を作っています

自分たちがにじ組や年少の時にはメダルを“もらう側”でしたが、年長さんになり、今度は作って“あげる側”になりました。「どんなメダルが良いかなあ」「なんて伝えたら嬉しいかなあ」とにじ組さん年少さんの立場になって、メッセージや絵の内容を考える姿に成長を感じました。自分の好きなものではなく、がんばって走った年少さん、走り切ったにじ組さんの気持ちを想像しながら、心を込めて作ったメダルです。カラフルなメダルが出来上がる予定ですので、運動会当日をお楽しみに♪

※年少さんの保護者の方は『よーいドン』の競技が終わり次第、クラスの座席まで来ていただき、お子さんからメダルを受け取ってください。よろしく願いたします。



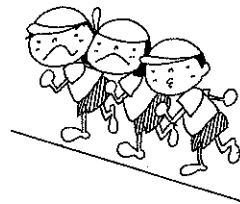
## ☆クラスの団結力が生まれる、生まれてほしいリレー

先日、朝の体操後に初リレーを行いました。初めてのため、保育者の実演付きの説明をしました。「スターの人は笛と旗の合図をよく聞く、見ること」「インコースから抜いた時に、他のクラスの友だちにぶつかって相手チームを妨害とみなされる場合は順位がつかないこと」「アンカーの人は走り終わったらすぐに自分のクラスの列に戻らないこと」などなど色々ルールがあるのですが、みんな真剣に聞いていました。その説明後、早速走ってみました。

「よーいピッ」の笛の合図で始まり、スターの子もフライングをせず、落ち着いて始めました。バトンを落としたり、順番が分からなくなる子もいなくてビックリ!!初めてのリレーはどうかと思いましたが、みんな上手で素晴らしかったです。

これからたくさん走って、バトンの受け渡しを何度も経験して、リレーの競い合う楽しさや、悔しさ、クラスの団結力が高まっていくような経験ができるようにと思っています。年長児がリレーを取り組む理由は、仲間と同じ目標を持ち、気持ちを一つにして、バトンを繋ぎ、最後まで諦めずに頑張る力が育ってほしいという願いからです。また年長児ならその願いを達成できる、達成してほしい、経験してほしいと思います。リレーを通して仲間との絆が今以上に深まるよう願っています。

運動会ではどのようなドラマが生まれるかわかりませんが、クラス関係なく、年長児全員を思いっきり応援してください。そして神さまからいただいた力、健康な身体に感謝し、自分の持っている力を十分に発揮できますように。



## ☆年長スペシャルは… 騎馬戦 です

今年の年長さんは、1学期からドロケイやドッジボールなどチームで競い合う遊びを繰り返し楽しんできています。年長さんになると、ただ泥棒を追いかける、ボールを投げるだけでなく、子ども同士で相談、協力して仲間を助けに行ったり、ボールを味方に回して当てようとするできるようになってきます。自分だけでなく同じチームの仲間と作戦を立てたり、協力することの楽しさが分かるようになっていきます。

そんな年長さんだからこそ、今まで遊びの中で経験し積み重ねてきたことを発揮し、仲間と力を合わせて勝負をする楽しさを感じて欲しいと願っています。その経験の一つとして、運動会ではおうちの方の力もお借りして『騎馬戦』に挑戦します。

運動会の『騎馬戦』では“個人戦”と“大将戦”を行います。どうしたら勝負に勝てるのかを皆で考えていく中で、「こうしたらいいんじゃない?」「こんな方法もあるよ」と色々なアイデアを出し合い、お互いの意見に耳を傾ける経験も重ねていって欲しいと願っています。当日もおうちの方に自分たちの作戦をお伝えする時間をとりますので、それまでの話し合いに思いを馳せながら作戦をきいてみてください。

子どもたちに年長スペシャルが『騎馬戦』であることを伝えると、「やったー!」「去年年長さんやってたよね」「おんぶでやるの?」と去年のことをよく覚えている子が多くいました。中には「(自分が)大きくなったから、お母さんおんぶできないかも…」と心配している子もいました。段々身体も大きくなってきた年長さん。家庭で抱っこやおんぶをする機会が減ってきているかと思いますが、運動会では思う存分ギューツとくっついて楽しみましょう♪子どもたちにとって、大好きなおうちの方とのスキンシップは嬉しい時間のはず!幼稚園で最後の運動会を親子で気持ちよく身体を動かして楽しみましょう。

『騎馬戦』のルールを載せておきます。みんなで楽しむためにも、怪我をしないためにもよく読んでおいてくださいね。

- ・お子さんをおんぶします。肩車は禁止です。
- ・子どもたちは、帽子のゴムを帽子の中に入れます。ゴムは顎には掛けません。
- ・帽子のツバは、後ろ向きにしてかぶります。帽子を押さえて守るのはNG!
- ・競技中は、歩いて移動します。早歩き、走ることは禁止です。
- ・コートの内側を移動してください。周りの白線から出ないように!
- ・帽子を取られたら、自分のチームのスタートラインに戻ってください。座って応援しましょう。
- ・笛の合図で終了です。

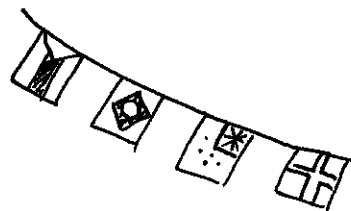
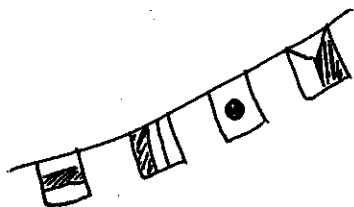


【前半戦…個人戦】帽子をかぶっている(取られなかった)子が多いチームが勝ちです。

【後半戦…大将戦】相手チームの兜を早く取ったチームの勝ちです。



& AKI



メンバー発表!!

	赤チーム	白チーム
一回戦		
二回戦		

※並ぶ順番は自由です。来た順に並んでください。

※白チームの一回戦の方は白旗、二回戦の方は白の三角コーン

赤チームの一回戦の方は赤旗、二回戦の方は赤の三角コーン に並んでください。



# 年中あつまり

先日行われたバザーでは、子どもたちが作ったガーラントを見ていただけましたか？ 実は、前回のこどもニュース発行日以降に、あつまりの中で子どもたちと一緒にガーラントの仕上げ(描いた顔を土台となる紙に貼ったり、麻紐に取り付けたり…)をしました。その出来上がりには、子どもたちはウキウキ♪ バザーの日に飾るんだ!ということで、バザー当日をさらに楽しみにしている姿がありました。

バザーの次は、運動会です。目まぐるしく行事があるように感じてしまいがちですが、子ども達は次に起こることを楽しみにしています。その様子をお伝えします。

## 運動の季節、まずはかけっこ！

先日、朝の運動会に向けた準備の時間に年中さんも『かけっこ』をしてみました。年中さんのかけっこは、三輪車小屋近くをスタートとし、トラックを半周と少し、鉄棒より少し手前がゴールとなります。はじめての『かけっこ』では、トラック内に侵入してショートカットする子もおらず、とても上手に走っていてびっくり!! 勢いよく駆け抜ける姿がありました。

そして、その後の学年あつまりで、「やってみてどうだった？」という保育者の問いかけには「面白かった」「楽しかった」とロク々に返ってきました。けれども、中には緊張した顔で『かけっこ』をしていた子、そうした振り返りの時間も硬い表情の子もいます。「そっかあ。私は皆の前で『よーい、ドン!』ってやるのドキドキしちゃうんだけど、そういう子はいない？」とあえて聞いてみると、かなりの数の手が上がりました。緊張したのは自分だけじゃないと知って、ちょっとほっとしているような表情の子もいました。

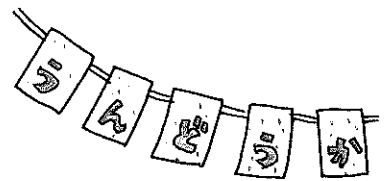
これからの学年あつまりでは、どうしたら速く走れるか?、ドキドキしたらどうする?など子どもたちと話し合っていけたらと思っています。運動会当日は、大勢のおうちの方も囲まれて、今以上に緊張してしまう子もいるかもしれません。それでも、カいっばい走る子どもたちを温かく見守っていただければと思います。

## 看板づくり

運動会に向けての年中さんとしての役割の一つとして、看板づくりがあります。エントランスに掲げる『うんどうかい』の文字や各クラスの応援席に下げるクラス名、また合言葉ともなる『がんばるぞ』コールなどの文字を作り、飾ります。

今年の看板は——、実はこれから作るところです。製作中の様子は、ドキュメンテーションにして掲示したいと考えておりますので、お楽しみに。一人一文字ずつ作りますので、「何の文字を作った？」とぜひお子さんに聞いてみてくださいね。

(ゆか)



## 年中スペシャルは ☆たまいれ☆

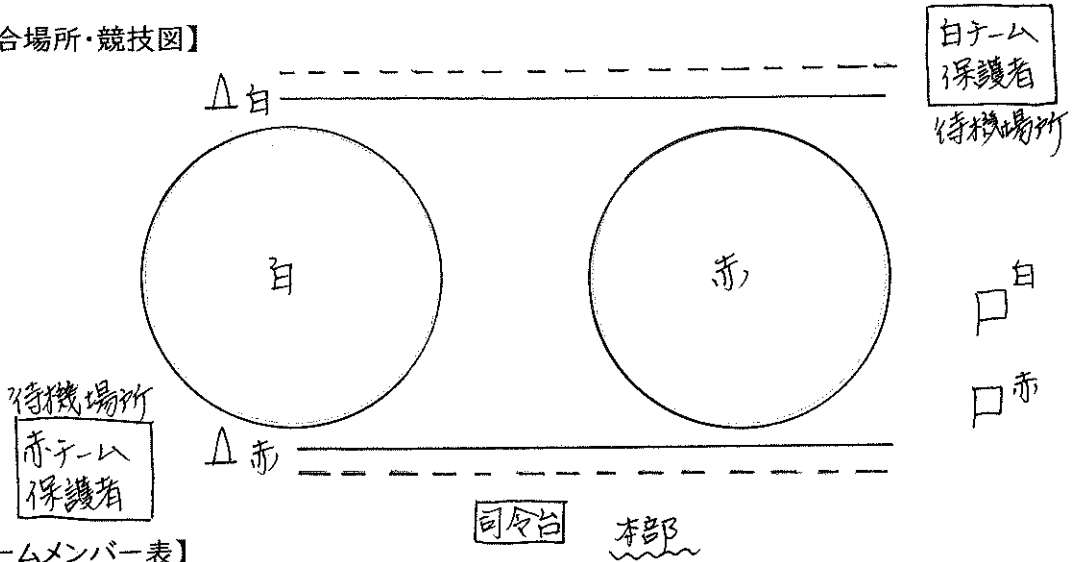
今年度は、1学期から遊戯室で玉入れを楽しむ子もちらほら。年中あつまりの時間にも、それぞれのグループごとに少人数で遊んだり、ゆか先生チーム VS りな先生チームで対戦したりして経験を積み重ねてきました。最初はなかなか入らなかった玉が、スッと籠に入った時の気持ち良さ。子どもたちのにこにこほころぶ笑顔から伝わってきます。籠に向かってただ投げるだけではなく、「どうやって投げると上手く入るか」ということもあつまりの中では話し合いました。話し合いだなんて、何だか年長さんみたい♡年中さんだって、手を挙げて自分の意見をみんなの前で発表する力が備わってきているんです。友だちと共有したコツやアイデアを参考にして、試行錯誤しながら遊ぶ姿を大切にしていきたいと思います。また、友だちと一緒に挑戦する中で、ルールのある遊びに興味を持ち、勝敗だけでなく、身体を思い切り動かす気持ち良さを感じながら楽しんでほしいと思っています。

そして、運動会当日は…親子で「スペシャルたまいれ」に挑戦していただきます!!

スペシャルバージョンでは、おうちの方におんぶしてもらった子どもたちが、動く籠に向かって玉を投げ入れます。先日のあつまりで子どもたちに話をすると、早速「おんぶの練習をお家でするんだよ。新聞紙を丸めて投げる練習も。」とおうちの方に伝えてくれている子がいました。子どもたちは、とっても楽しみにしています♡親子競技だからこそできるちょっと難しい玉入れに、是非一緒に挑戦していただき、「やったね!できたね!」という達成感を子どもたちと共に味わってほしいと思います。怪我無く、子どもたちと楽しむ為にも、ルールを守っておこなってくださいね♪では、ルールを説明します。

- ・おうちの方は、赤白それぞれの待機場所(競技図参照)に集合してください。まずは子どもたちのみでの競技となります。その間は、待機場所に座って応援してください。
- ・「スペシャル玉入れをしますので、おうちの方は移動してください」とアナウンスが流れたら、お子さんの後ろ(図の点線部分)に移動してください。
- ・お子さんをおんぶして競技します。肩車は禁止です。
- ・円の外から、保育者の背負った籠に向けて玉を投げます。円の中は籠を背負った保育者が移動しますので、入ってはいけません。子どもたちは、円の中にいる玉渡し系の保護者から玉を1つ受け取って投げます。
- ・円の外に出ている玉は拾ってもOKです。
- ・競技中は、円の外側であれば歩いて移動することができます。走ることは禁止です。
- ・笛の合図で開始、終了です。

【集合場所・競技図】



【チームメンバー表】

☆玉入れ(子どものみ)☆

赤チーム

白チーム

☆スペシャル玉入れ(親子)☆ ※赤チーム、白チームは玉入れ(子どものみ)と同じです。

1回戦

2回戦

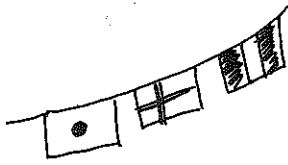
※玉渡しをしていただく保護者の方には、当日お声がけしますのでよろしくお願いいたします。

※赤白チームメンバー表をご覧になって、お子さんのチームと何回戦に出場するかを当日までに必ずご確認ください。保護者の参加は、年中児1名につき1名です。

♡競技中は温かいご声援をどうぞよろしくお願いいたします♡

(Rina)



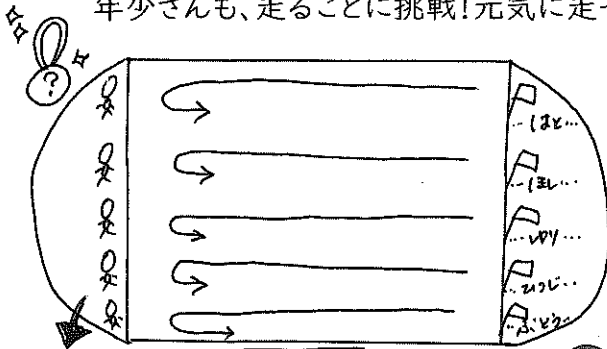


# 年少あつまり

運動会がだんだんと近づいてきました。毎朝の体操やその後の準備の時間を通して、年少さんも「うんどうかいってこんなかんじなのかな～」と少しずつイメージをしているようです。今回は、運動会に向けた年少さんの取り組みをご紹介します。

## よーいドン!

年少さんも、走ることに挑戦!元気に走って素敵なメダルをもらおう♪



年長さんがメダルを持って待っています

司令台

①名前を呼ばれて「はい」とお返事。

②よーいドンで走り出す!!

年長さんがメダルを持って待っています。

③メダルをもらってクラスの先生のところまで。  
クラスの先生と年少系の年長さんとぎゅっ♡

メダルは年長さんが作ってくれていて、  
どんなメダルかは、運動会当日までのお楽しみ♪  
当日はアナウンスも入りますので、『よーいドン』が終わりましたら  
座席にいる我が子のところへ、メダルを取りに来てください。

体操後の時間に『よーいドン』をやってみました。年長さんのところまで元気いっぱい走っていき、メダルをもらってにっこにこだった子や、初めてのことでドキドキしている子、「やりたくないよ・・・」な子、様々な姿を見せてくれました。これからあつまりでも経験をしていきます。“はしることってたのしい♪”“やってみたらできた!”を感じていけたらいいなあと思っています。

当日は、大勢のおうちの方の応援に緊張してしまう子いるかもしれません。

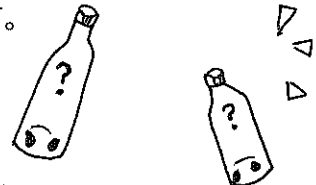
どうぞ、温かく見守ってください☆

## 応援グッズづくり

ペットボトルの回収のご協力、ありがとうございました。

第一回目の保育参加で、どんぐり拾いをしてきました♪まるまる大きいどんぐりや、まだ緑色の小さなどんぐりなど色々な種類のどんぐりを見つけました。そして、ペットボトルと拾ってきたどんぐりを使って、運動会の応援グッズを作る予定です。

どんな応援グッズになるかは…当日をお楽しみに!



おたのしみに... ♪

# 宝とりゲーム

多くの年少さんにとって初めての運動会。普段よりもたくさんの人にドキドキして、なんだかやりたくないな、という子もいると思います。でも、大好きなおうちの方と一緒になら…頑張れる! ということで、年少スペシャルでは、親子で手を繋いで〈宝とりゲーム〉を行います。

先日の年少あつまりで、宝とりゲームをやってみました。ルールのある遊びは、年少あつまりでは初挑戦でしたが、“宝とるぞ!”と気合い十分。ルールを理解し、宝を取って一生懸命走る子もいれば、宝を取られないように必死で守ろうとする子もいました(守備はありません笑)。待っている間は「がんばれー!!」と応援する声が飛び交い、結果発表では「やったー!」と喜んで、ゲームの楽しさも感じられたようでした。あつまりの終わりに、「おうちの人に、今日どんなゲームをしたか教えてあげてね。おうちの方がやりたい! ってなったら、運動会で一緒にできるかも…♡」と年少さんに伝えましたが、お話ししてくれましたか?

結果発表がありますが、勝敗にこだわらず、親子で一緒に汗を流し身体を動かす楽しさや、応援する・してもらう喜びを感じる時となるよう願っています。また、今回の宝とりゲームでルールのある遊びの楽しさを感じて、これからの遊びに繋がっていくといいなと思います。

## \*ルール

① 黄、青チーム各3グループに分かれて行います。チーム分け表(次ページ)をご覧ください。

1回戦: 黄① vs. 青①

2回戦: 黄② vs. 青②

3回戦: 黄③ vs. 青③

② 下図の位置に、親子で並んでください。

③ スタートの線に親子で並びます。笛の合図が鳴ったら、相手の陣地にある宝(赤玉)を、親子で手を繋いで走って取りにいきます。

☆1度に運べる宝は1人1つ!

④ 取った宝を自分の陣地に置きます。

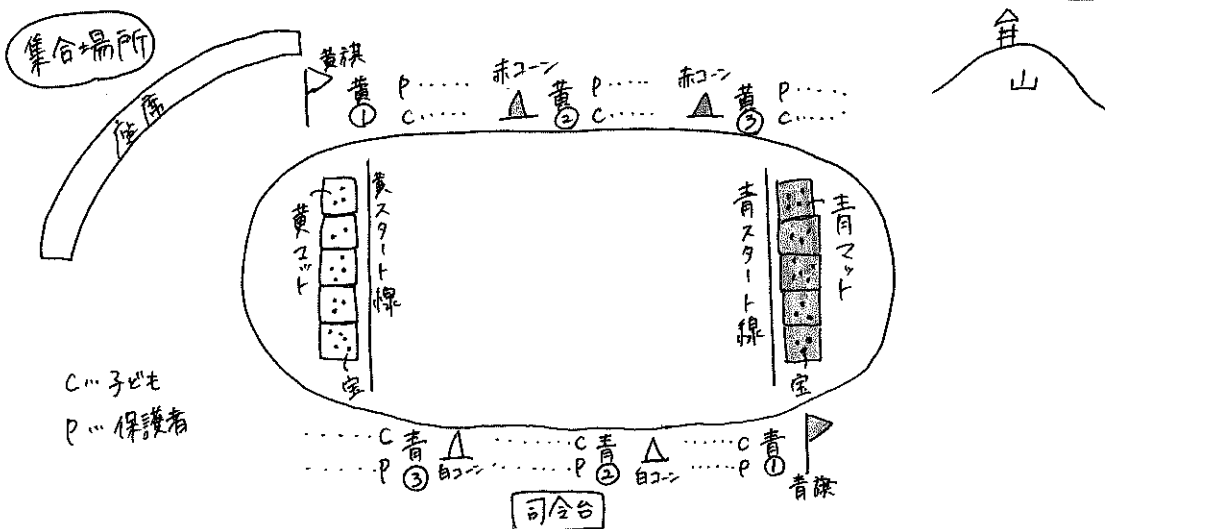
⑤ また相手の陣地に宝を取りに行きます。終了の合図まで繰り返します。

⑥ 終了の笛が鳴ったら、元の位置に戻ります。次のグループと交代します。

☆笛が鳴った時に手に持っていた宝は、陣地に置いてOK!

⑦ 3回戦後、それぞれの陣地に残っている宝の数を数えて結果発表!

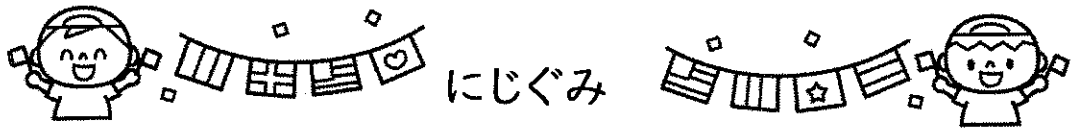
⑧ 退場します。親子で座席に戻ってください。



年少スペシャル〈宝とりゲーム〉 チーム分け表

	黄	青
①		
②		
③		

(あゆみ & ゆきえ)



二学期から朝の体操が始まりました。にじぐみさんは一学期からお部屋で、朝の集まりの前に体操をしていましたが、朝のテーマソングにあわせて「とんとんまえ、とんとんまえ♪」とクラス旗の前に整列することは初めてです。

最初はどこに並ぶのか戸惑う姿があったり、指令台に立つ先生が見えなくて何をやるのかわからず、不思議そうに立っている姿もありました。

しかし、毎回愉快的な音楽と共に体操が始まるので、みんなまわりのお兄さんお姉さんや先生たちの動きを一生懸命真似して楽しんでいます。

今年は残暑が大変厳しかったのですが、少しずつ秋の気配も感じられるようになりました。気持ちよく体を動かしてのびのびと遊びたいと思います。

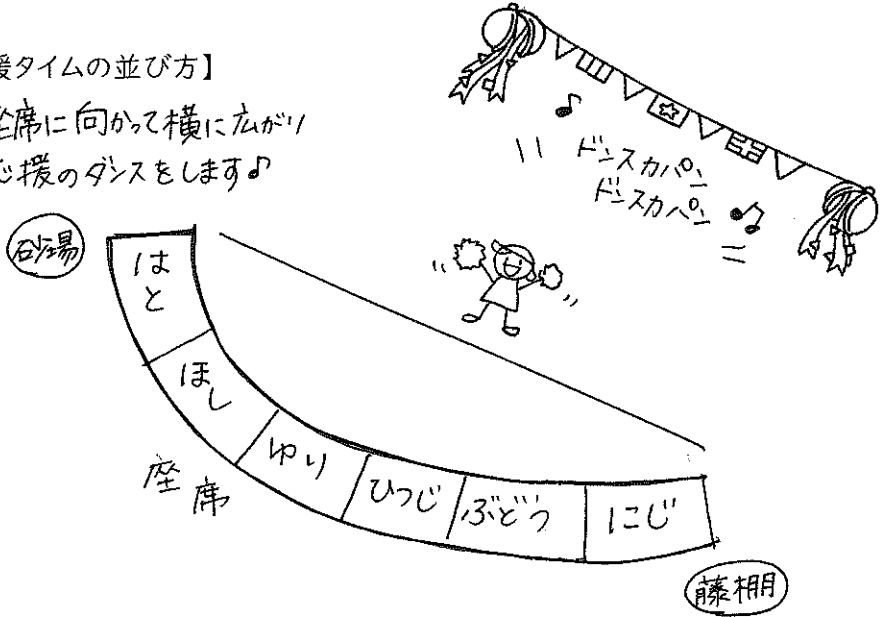
体操の後は、各学年がかけっこやリレー、スペシャルなプログラムを毎日一種目ずつ見せてくれます。一生懸命走ったり、玉入れをするお兄さんお姉さんたちの動きを、にじぐみさんも真剣なまなざしで見えています。

そしてにじぐみさんは「応援タイム」やかけこの「ラン Run らん♪」で頑張ります！にじぐみカラーのピンクのポンポンをもって幼稚園のみんなを応援します。ポンポンを持つだけで嬉しいにじぐみさん。「ドンスカパンパン応援団」の軽快でノリの良い音楽に合わせて一生懸命踊って応援しています。

最後の「ハッ！」という決めポーズもみんなのお気に入りです。当日はドキドキしてしまうかもしれませんが、可愛い応援団をどうぞお楽しみに！

【応援タイムの並び方】

\* 座席に向かって横にながり  
応援のダンスをします♪



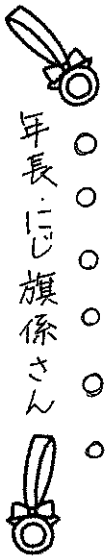


「ラン Run らん♪」



にじぐみさんのかけっこ「ラン Run らん♪」は、ゴールで待って下さるおうちの方を目指して走ります。

下図のように子どもたちが6名ずつ3組でスタートラインに立ちますので、おうちの方はゴールラインに對面でお待ちください。



・おうちの方・ ゴール

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ⑬ | ⑭ | ⑮ |
| ⑯ | ⑰ | ⑱ |
| ⑲ | ⑳ | ㉑ |
| ㉒ | ㉓ | ㉔ |
| ㉕ | ㉖ | ㉗ |
| ㉘ | ㉙ | ㉚ |

スタート

・子どもたち・

- |   |   |
|---|---|
| △ | ① |
| △ | ② |
| △ | ③ |
| △ | ④ |
| △ | ⑤ |
| △ | ⑥ |



司令台

☆一人ずつ名前を呼ばれたら「はい!」とお返事をしてから、6人ずつスタートします。ゴールをしたら「頑張ったね♡」と、ギュッとハグしてあげてください。そのあと年長さんから素敵な手作りメダルのプレゼントがあります。

『にじ旗係』さんから首にかけていただいでくださいね。

☆一組目が終わったら三組目の方の後ろに並び、お子さんとしゃがんでお待ちください。全員が走り終わってから退場します。

☆「ラン Run らん♪」終了後にじぐみさんはフィナーレまでおうちの方と過ごします。座席も開放しますので、一緒に応援をお願いいたします。

☆当日は大勢のおうちの方がいらっしゃるの、いつもと違う雰囲気に戸惑うお子さんもいるかと思ひます。また入園したばかりのお子さんもいらっしゃるの、温かく見守っていただけると嬉しいで。

Akie\*